

平成27年7月21日  
消 防 庁

## 「御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等検討会」の発足

噴火災害時を含む山岳救助活動の充実を図ることを目的として、「御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等検討会」を開催し、山岳救助活動を安全かつ効率的に実施するための活動要領について検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。

## 1 背景・目的

昨今の登山ブームに加え、平成28年8月11日から国民の祝日として「山の日」が制定されることから、登山者が増え山岳遭難事故の増加も懸念されます。

また、平成26年9月に発生した御嶽山噴火災害では、多くの登山者が巻き込まれ過去に例のない死傷者が発生する事態となりました。救助活動においても、山岳という特殊な環境と噴火災害による二次被害の発生する危険性が高い中での活動を余儀なくされ、多くの検討課題が見出されました。

これらのことを踏まえ、山岳救助活動に共通する基本事項から噴火災害といった特殊事項まで、安全・確実な山岳救助活動が実践できるよう検討します。

## 2 検討事項

- (1) 関係機関との連携
- (2) 捜索・救助要領、資機材の活用方法
- (3) 安全管理の視点と手法
- (4) 噴火災害の特殊事項への対処

## 3 スケジュール

平成27年7月28日（火）に開催する予定です。

## 4 委員

別紙のとおり



## &lt;連絡先&gt;

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：新村補佐、石川係長、若田部事務官

電話 03-5253-7507(直通)、FAX 03-5253-7576

## 「救助技術の高度化等検討会」委員名簿

(敬称略：五十音順)

## 【委員】

- ・ 磯野 剛太 公益社団法人日本山岳ガイド協会 代表理事 理事長
- ・ 大城 和恵 社会医療法人孝仁会心臓血管センター北海道大野病院  
循環器内科医師
- ・ 小林 恭一 東京理科大学総合研究院 教授
- ・ 込山 忠憲 長野市消防局 次長兼警防課長
- ・ 鈴木 正志 置賜広域行政事務組合消防本部 統括主幹
- ・ 立石 信行 全国消防長会 事業部事業企画課長
- ・ 長岡 健一 公益社団法人日本山岳ガイド協会 国際山岳ガイド (兼)  
独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所  
主任講師・専門調査委員 (兼)  
ゼネラルマウンテンガイドアカデミー 代表
- ・ 名取 和雄 静岡市消防局 参与兼警防課長
- ・ 萩森 義男 東京消防庁 警防部救助課長
- ・ 平本 隆司 東京消防庁 警防部特殊災害課長
- ・ 星野 真則 独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所  
専門職
- ・ 町田 幸男 公益社団法人日本山岳協会 遭難対策委員会 副委員長
- ・ 松井 孝博 富山県防災航空センター 副主幹
- ・ 百瀬 渉 松本広域消防局 警防課長

## 【事務局】

- ・ 消防庁国民保護・防災部参事官付